

8607 メグミの肩をつかんでこちらを向かせた。
メグミの肩をつかんでこちらを向かせた。
「考えが変わった。どこかへ行こう。」
「本当に？」
驚いて目を大きく開きメグミは僕を見つめた。
「本当だよ。」
「どうして？ 急に。」
「どうしてかな……よくわからない。うじうじ考えてばかりいるのが嫌になったんだ。」
彼女は何か考えているように虚空を見つめ、髪に手をやった。
「嫌なのか？」
「そうじゃないけど……いつ？」
「近いうちに……明日また会う？」
「そうね。……本当に本気？」
「ああ、本当に本気。……一時に中村書店前で待っている。」

川西 蘭：空で逢うとき

[許容訳例]

I gazed Megumi by the shoulder and turned her to look at me.
“I’ve changed my mind. Let’s go somewhere.”
“Really?”
Opening her eyes wide in surprise, Megumi gazed at me.
“Yes, really.”
“Why? Why have you changed so suddenly?”
“Why?… I’m not sure. I’m fed up with always thinking indecisively.”
She gazed into space as though thinking about something, and put a hand to her hair.
“Don’t you want to go?”
“It’s not that I don’t want to… when?”
“In the near future… Will you meet me again tomorrow?”
“I suppose so… Did you say it seriously?”
“Yes, seriously… I’ll see you at one o’clock in front of the Nakamura Bookstore.”

[翻訳例]

I grasped Megumi by the shoulder and turned her to face me.
“I’ve changed my mind. Let’s go somewhere.”
“Really? ”

Megumi stared at me, her eyes wide in surprise.

“Yes, really!”

“Why? It’s so sudden…”

“I wonder… I’m not really sure. I’ve got fed up with being so hesitant all the time.”

She gazed into space as though considering something, and put a hand up to her hair.

“Don’t you want to?”

“It’s not that… when?”

“Sometime soon… Shall I see you again tomorrow?”

“I suppose so… Did you really mean it?”

“Sure, I really meant it… I’ll be in front of the Nakamura Bookstore at one o’clock.”

■メグミの肩をつかんでこちらを向かせた。 (8607)

★「メグミの肩をつかむ」は grasp Megumi’s shoulder でも間違いではありませんが、grasp Megumi by the shoulder の法が英語らしい表現になります。まずつかんだ相手を持ってきて、次に具体的な場所を述べるわけです。あくまでも‘メグミをつかんだ’に比重があるということです。

★「こちらを向かせる」は make her look at me でも間違いではありませんが、‘向かせた’のニュアンスをはっきり出すためにも turn her to face me (=turn her so that she is facing me) が英語として決まった表現です。なお、to face me の他に to look at me でも構いません。

● [で (そして)] (動作順次)

[で] は「そして・それから」などを補える場合には「動作順次」で and です。なお、and を用いないで I grasped Megumi by the shoulder to make her look at me とすると「メグミの肩をつかむと)彼女はこっちを振り返った」という意味にもなるので避けた方がいいでしょう。

■考えが変わった。 (8607)

★「考えが変わった」は、英語としては I’ve changed my mind. が決まった言い方です。ただ、完了形にしないで I changed my mind. も、特にアメリカでは使い、最近ではイギリス人も使うようになっています。どの言語にも言えることですが、母語が英語でない人が増えると英語は平易化・簡素化されて平均化されます。完了形のもつ微妙な主観性は消えてしまったのです。アメリカの子供たちは、述語動詞の使い方を I do it every day./ I did it yesterday./ I have done it many times. と習うので、完了形は「繰り返しした（ことがある）」と覚えるのです。

■「どこかへ行こう」 (8607)

★「どこかへ行こう」は Let’s go somewhere. です。

■本当に? (8607)

★「本当に?」は Really? です。「本当に?」は「本当?」よりも多少懸念の感じが含まれて

いますが、そのニュアンスはイントネーションで出すしかないでしょう。

■驚いて目を大きく開きメグミは僕を見つめた。(8607)

★「驚いて」は *in surprise* でしょう。辞書には *in astonishment* も出ています。これはかなり強くなりますが、ここで使ってもいいでしょう。

◆「目を大きく開き」(wide か widely か)

「目を大きく開き」は *open her eyes wide* です。 *wide* の代わりに *widely* は使えません。*wide* と *widely* の使い方は非常に難しいのですが、*She opened her eyes wide.* は、英語で言い換えると *She opened her eyes so that they were [became] wide (as a result).* ということになります。つまり、開け方ではなく、あくまでも結果を表しているのです。似たような例を挙げますと、*He came home drunk.* と *He came[walked] home drunkenly.* の違いを考えてみればよくわかると思います。後者が帰宅するまでの状態を述べているのに対して、前者はあくまでも帰宅したときの状態、つまり結果を表しているのです。

★「僕を見つめた」は *stared at me* です。 *gazed at ~* はどちらか言うと「眺めた」に近く、弱い感じになります。

●「様態（連用形）+・・・した」（目を大きく開きメグミは僕を見つめた）

「驚いて目を大きく開きメグミは僕を見つめた」を *Opening her eyes wide in surprise* として先頭に置いて *Megumi stared at me* 続けても間違いとは言い難いのですが、「驚いて目を大きく開き」というのは「見つめた」の様態をあらわすものですから「述語動詞十様態副詞（句）」の語順にして *Megumi stared at me, (with) her eyes wide (open) in surprise* として文末に置いた方がいいでしょう。一方、*Opening her eyes wide in surprise, Megumi…* は、多くの場合、「驚いて目を大きく開いたメグミは・・・」という日本語の「連体修飾節+特定名詞」の感覚で使われる所以、必ずしも日本文とは一致しないからです。

■本当だよ。(8607)

★「本当だよ」は *Really!* でもいいのですが、ちょっと物足りない感じがします。ここは「本当に？」に対する返事です。日本語では、無くともよいのですが、英語では‘質問’に対してまず返答するというのが普通ですから「うん、本当だよ」と補って、*Yes, really!* にしたいところです。それから、ついでですが、*I've changed [I changed] my mind.* を直接受けていれば、*Yes, I have [did].* とも言えますが、*Let's go somewhere.* が間に入っているので、ここでは使えません。

■どうして？急に。」(8607)

★「どうして？」は *Why?* でいいでしょう。

★「急に」は、省かれているところを補うと「(どうして)急に(考えが変わったの?)」ですから、*Why have you changed your mind so suddenly?* です。この言い方は *Why has your attitude changed so suddenly?* という意味で、実際よく使われます。あるいは、もっと短くするのでしたら、主語を補って *Why? It's so sudden.* とか、前の「どうして？」と組み合わせて *Why so sudden(ly)?* も使えます。

■どうしてかな・・・・・・よくわからない。(8607)

★「どうしてかな・・・」は自分に問うているのですから I wonder…です。

★「よくわからない」は、「(実のところ)自分にもわからない」ということです。I'm not sure./ I'm not really sure./ I can't really say.などです。最後の say は explain に近い意味です。なお、know を使うなら I don't know for sure./ I don't really know.などです。

■「うじうじ考えてばかりいるのが嫌になったんだ。」(8607)

★「うじうじ考えてばかりいる…」は always thinking indecisively ですが being so hesitant always [all the times]と言ふことも出来ます。他に、辞書には irresolute(ly)も出ています。使えなくはありませんば、ちょっと堅い感じがします。それと、この言葉は客観的に人を見た場合に用いるのが普通なので、自分に使うのはちょっと変な感じがします。

★「(うじうじ考えてばかりいるのが) 嫌になった」は、「(どうしようかと考えてばかりいることに) 自分がうんざりなんだ」くらいに考えて be fed up with ~ (～にあきあきする・うんざりする) がいいですが、他に be tired of ~/ be sick of ~/ be sick and tired of ~なども使うことが出来ます。

■彼女は何か考えているように虚空を見つめ、髪に手をやった。(8607)

★「彼女は何かを考えるよう」は「彼女は(あたかも)何かを考えるように」として as though [as if] considering something とします。この consider というのは「何かの問題についてどうしようかな・どうしたら良いかなと検討する」という意味です。「何かについて考えるよう」と解して considering の代わりに thinking about something も可能ですが、ちょっと弱い感じがします。なお, thinking of ~(具体的に～を思い浮かべる[考える])(cf. I'm thinking of my older mother back in the country)は使えません。

★「虚空を見つめる」は gaze into space [emptiness]です。gaze at the air はあってもよさそうな言い方ですが、実際には使いません。

★「髪に手をやった」は「彼女は手を自分の髪へもっていった」と考えて put a hand (up) to her hair でしょう。

● [連用形] (虚空を見つめ、髪に手をやった)

「虚空を見つめ、髪に手をやった」は「[て] それから」を補うことができるので「動作順次」です。and で連結します。

■「嫌なのか?」(8607)

★「嫌なのか?」は「行きたくないのか?」として, Don't you want to (go)?です。他に「反対なのか; 文句あるのか」として Do you have any objections? /Do you object? も考えることが出来ますが、強いてここで使う必要はないと思います。

■「そうじゃないけど・・・・・・いつ?」(8607)

★「そうじゃないけど」の「けど」は、口調を整えるためであって、深い意味はないのですが、これがあることによって‘積極的ではないが同意している’という感じになります。したがって、「けど」に but を使わないで、It's not that.くらいでいいでしょう。not that は「そ

ういうわけではない・そうは言っていない」というイディオムです。Oh, I want to.は積極的で強すぎます。

★「いつ?」にも積極性は感じられません。単に When?でいいでしょう。他に、自分の方の気持ちを全然出さないで「いつ行こうと思っているのか」なら When are you thinking of going?とか、あるいは「(行くとすると)いつになる?」なら When would we go?という感じです。

■「近いうちに・・・・・明日また会う?」(8607)

★「近いうちに…」は、辞書などでは in the near future と出ていて、これでもいいですが、この会話ではちょっと固いかもしれません。sometime soon とか before long などでいいでしょう。

★「明日また会う?」は、相手の意向をはっきりたずねる(Will you meet me again tomorrow?)のではないし、また、自分の意向を述べているのではなく、一応、客観的に事実を確かめ、相手の意志や自分の気持ちをはっきり述べることを避けた間接的な表現として「明日また会うということが起きるのか」と言っていると思われる所以 Shall [Will] I see you again tomorrow?とします。なお、現在ではアメリカだけでなくイギリスでも will を使うのが普通です。

■「そうね・・・・・本当に本気?」(8607)

★「そうね」は、その気にはなっているのですが「ええ」というほど積極的でもなく、自分の気持ちとはかわりなく、そういう事態(=明日また会う)になると思うと言っているのですから I suppose so ぐらいです。

★「本当に本気?」の「本気」を「本気で言う」と解するなら Did you really mean it?が最もいいでしょう。ほかに Were you really serious?と言うことも出来ます。Did you say it seriously?は詰問になるので、ここでは駄目です。

■「ああ、本当に本気.」(8607)

★「ああ」はアメリカ人なら Sure でしょう。イギリス人なら Yes です。

★「本当に本気」も「ああ、本気で言ったんだよ」と考えます。単に Seriously でもかまいませんが、Sure. I really meant it.がいいでしょう。

■「一時に中村書店前で待っている.」(8607)

★「一時に」は at one o'clock です。

★「中村書店前で」は in front of Nakamura Bookstore です。

★「待っている」ですが、日本語の「待っている」には「決めた時間以後もいる」(wait)という意味と「そこにいる」(be)の意味が含まれています。ここは後者ですから I'll be in front of Nakamura Bookstore at one o'clock.です。他に I'll see you…と言ふことも出来ますが、その場合は、I'll see you at one o'clock in front of Nakamura Bookstore.と情報素の順序を変えてもかまいません。また wait という動詞を使うとすれば I'll be waiting…とした方が英語らしくなります。

